

あったかトーク

第27号 2018年夏号

ひぐちのりこ事務所
(青葉区版)
発行人 樋口 典子

1959年仙台市生まれ 管理栄養士
社民党仙台市議員
●都市整備建設常任委員会
●地域経済活性化調査特別委員会
●議会運営委員会

市税条例、手数料条例の改定など計12件の議案審査

平成30年第2回定例会市議会は、6月7日から22日まで開かれ、補正予算、条例改正案など計12件の議案審査を行いました。

中小事業者等が「生産性向上特別措置法」に基づいて先端設備等を導入した際に、固定資産税の課税標準の特例に係る割合をゼロにする市税条例の一部を改正する条例が上程されました。また、紹介状のない初診料を3,240円から5,400円に引き上げ、再診の場合2,700円とするなどの市立病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例も上程されました。その他、5年以上放課後健全育成事業に従事した者を放課後児童支援員と

することができるようにするための改正案、介護サービス情報公表・調査手数料を定めるものなどが提案されました。農業委員（任期3年、19名）の選任、仙台市資産等公開審査会の委員の委嘱に関する人事案件も提案され、これらの議案は全て可決成立しました。

「旧優生保護法による不妊手術を受けた当事者への対応を求める」意見書が可決

宮城県は全国2番目に強制不妊手術を受けた人たちが多く、また保健所を設置している仙台市に対しても、国から資料の保全が求められていることから、全会一致で可決されました。

学徒フリーパス料金改定が可決

なお、第1回定例会の予算等審査特別委員会で継続審査となっていた市営バスの学都フリーパスについて、赤字経営の解消策として値上げ（バスのみ、5,140円が5,940円など）する運賃条例の改正案については、5月31日の委員会決定を受けて6月13日の本会議で賛成多数で可決されました。



持続的な経済発展・交流人口拡大の戦略策定へ

2014年に策定した「仙台経済成長デザイン」が今年3月で期間終了となったことを受け、郡市長は新たな経済成長戦略と交流人口ビジネス活性化戦略を策定する方針を示しました。この新戦略は「経済成長デザイン」の後継という位置づけになり、交流人口の拡大戦略を独立して策定することになりました。また、約678億円の経済波及効果、約5,000人の雇用が見込まれていると言われています。次世代型の東北放射光施設への支援を強化することとなりました。



政令市議会政策研究会。

ひぐちのりこ 市政報告 & おしゃべり会

市議会報告と、今後の仙台市のビジョンなど話し合っていきたいと思います。お子様連れでも参加いただけます。

- ◆日時/8月29日(水) 15時～(1時間くらい)
- ◆会場/ひぐちのりこ事務所 ◆人数/10名様くらい

出入り自由 無料

ひぐちのりこ事務所
〒980-0011
仙台市青葉区上杉3丁目9-31
プリマヴェーラ杜王101
TEL.022-398-8171
FAX.022-398-8172

セブンイレブン側からお入り下さい。
お気軽にお立寄り下さい!

ひぐちのりこ 東奔西走!

4.20/5.21/6.24

都市整備建設常任委員会

4月は、同月18日に発生した仙台市地下鉄南北線の6時間運休について、検証や再発防止策などについて。

5月は地下鉄でのベビーカーを利用しやすい環境整備、啓発などについて。

6月は下水道施設の改築への国庫負担の削減が論議されている中、継続を求めることを質しました。

第1回定例会で求めた盗撮等防止啓発ポスターが地下鉄構内に掲示。

防犯カメラ録画中



盗撮や迷惑行為は
駅窓口へお知らせ下さい。

4.27 仙台市消防航空隊開所式

東日本大震災による津波で壊滅的な被害を受けたことから、新たな活動拠点確保のため宮城県と共同で整備を進め、本年4月1日から仙台国際空港隣接地での運用を開始した消防航空隊新庁舎。鉄骨造で地上3階建て。格納庫の延べ床面積約2,100平方メートル。仙台市防災ヘリ「けやき」は時速200キロメートル、1回の給油で2時間飛行可能。13人まで乗り込むことが可能のことでした。日本全国の防災ヘリとネットワークを結んでおり、非常時には連携をとって活動をするので、指令をする設備も見学しました。

仙台市防災ヘリ「けやき」。



5.22・23 議会運営委員会視察

22日は久留米市議会でのタブレット端末使用によるペーパーレス化への取り組みを学びました。本会議場には、3月から導入されたディスプレイも4カ所に整備されています。

23日は北九州市議会でのタブレット導入に向けての取り組み、本会議場でのバリアフリーの取り組みを視察。傍聴席の一角にあった貴賓室を改修してつくられた乳幼児を連れて議会傍聴ができるスペースを見学。議会を見渡せる窓にはロールカーテンもあり、授乳も可能です。今年の2月議会には3組、7名が利用したそうです。

久留米市議会本会議場。



6.6 仙台市水防訓練

宮城野区の七北田川岩切大橋緑地で行われた訓練には、各区の消防署、消防団員、仙台市危機管理室など344名が参加。七北田川の増水により、水位は「氾濫危険水位」を超える恐れがあるとの想定で「避難勧告等の広報・伝達訓練」「水防工法訓練」などが行われました。



各消防団による水防工法訓練。

5.25 小平市ふれあい下水道館視察

下水道の役割を知り、水環境について考える全国初の施設「小平市下水道館(東京都)」を視察しました。100年にわたる下水道管の長寿命化計画や地震対策などのレクチャーを受けました。下水の中の微生物も大画面で鑑賞。特別展として花を題材とした全国のマンホールの蓋が展示されていました。地下25メートルに埋められている下水道管の中に入り、実際に下水の色やにおいを体感しました。年間20,000人ほどの来館者があるとのこと。



地下5階にある巨大な下水道管。春には桜の花びらも流れるそうです。

たくさんの皆さんの声を聞きます!



6.12 仙台市総合防災訓練

宮城県中部を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生し、仙台市では震度6強を観測したとの想定で、仙台市消防学校で行われました。

消防局をはじめ市の担当部局、宮城県警察や民間企業などが参加し、道路啓開訓練(重機やレッカー車を活用し、放置車両や散乱した積荷の除去を行う)、倒壊建物等救助訓練、現地救護所運用訓練、仮設トイレ供給訓練、緊急物資輸送訓練などを間近で体感しました。



特殊作業車も大活躍。

「いじめ問題等調査特別委員会」が「中間報告」

市議会に設置されたいじめ問題等調査特別委員会では第2回定例会に中間報告を提出しました。

再発防止策として、①学校内の情報共有や教職員間の連携と役割分担によるいじめ問題への適切な対応体制の整備、②いじめの認識に際しては初期対応を適切に行う体制、③発達に特性のある児童生徒への理解と支援、④教職員の多忙化の解消、⑤地域が子どもを見守り育てる仕組み

づくり、⑥市のいじめ防止策に対するの総括的な役割、などを提言しました。

一方、仙台市は、本年4月から子供未来局に「いじめ対策推進室」を設置し、行政側の対応窓口を整理していくこととし、その中で「いじめ防止条例」の制定(7月10日に骨子案を提示)を進めていくこととしています。

7.4・6 会派視察

7月4日は、国営東京臨海広域防災公園にある「そなエリア」での現地視察。首都直下型地震を想定して、行政や消防、警察などが連携して指令をする施設と防災学習の拠点となっています。5日は川崎市のスポーツ・文化の総合施設「カルツかわさき」の視察、小学校跡施設を活用した「板橋区公文書館」の視察。6日は足立区役所の「自転車条例」について担当の方からレクチャーを受けました。



防災に関する展示満載の「そなエリア」。

ひぐちのりこ 主な活動日誌

4月25日	いじめ問題等対策調査特別委員会	5月28日	仙台・福島・山形市議会広域観光連携推進幹事会
4月30日	中山「とびのこハウス」内覧会	5月31日	議会運営委員会、予算等審査特別委員会
5月3日	憲法を活かす宮城県民集会	6月1日	みやぎ女性議員のつどい研修会
5月9日～10日	政令市議会政策研究会	6月5日	本会議場のバリアフリー環境整備要請
5月10日	優生保護法下における強制不妊手術について考える議員連盟勉強会	6月17日	地域防災(仙台高校避難所開設)訓練
5月10日～11日	自治体議員女性政策研究交流会	7月2日	地域経済活性化調査特別委員会
5月13日	仙台ハーフマラソン国際姉妹都市等交流会	7月4日～6日	会派視察
5月17日	地域経済活性化調査特別委員会	7月7日～8日	フェミニスト議員連盟サマーセミナー
5月27日	フェミニスト議員連盟総会、研修会	7月10日・19日	いじめ問題等対策調査特別委員会

これからの主な予定

7月20日	都市整備建設常任委員会	8月20日	いじめ問題等対策調査特別委員会
7月24日～25日	地域経済活性化調査特別委員会視察	8月22日	地域経済活性化調査特別委員会
7月31日	青葉はつらつ明老祭	9月4日～10月5日	仙台市議会第3回定例会

6月15日

政治分野における 男女共同参画推進法を 活かした施策など一般質問しました

ヤングケアラー支援

「ヤングケアラー（家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートを行っている18歳未満の子ども）」の認識と実態調査および支援について求めました。

調査については、他都市の事例などの情報を収集していきたい。家庭における介護の負担などが増大し、それらを子どもが担うことで、学習や生活面での制約を受け、子どもの健やかな成長や進路などに影響が及ぶことは十分考えられる。今後とも関係機関が連携を深め、未来ある子どもたちが健やかに育ち、学ぶことができる環境づくりを進めていくと答えました。



けて力を注いできており大変嬉しく思っている。法の趣旨を市民と共有し、社会の多様性と活力を高めることによって、将来にわたって人々をひきつけ、輝き続けるまち・仙台の実現に向けて、共に取り組んでいきたい。さらに法の趣旨に基づき女性の副市長の登用を求め、法の趣旨も踏まえながら、女性の登用についても意を用い、適材適所の人事配置に努めていきたいとの答弁でした。

セクハラなど、働く場での暴力やハラスメントをなくすための条約制定に向けた動きについては、ハラスメントなどの根絶に向けた機運がさらに高まるものと考えている。誰もが働きやすい職場づくりに向けた対策の必要性について、事業主へ周知啓発するなどの取り組みを引き続き進めていきたいと述べました。

セクハラはゆるさないアピール。

5月に成立した国会や地方議会の女性議員を増やすため、選挙の候補者を男女均等とするよう努力することを政党に促す「政治分野における男女共同参画推進法」について市長の思いを聞きました。

市長からは、これまで法制化に向

自治体の非正規職員の待遇改善



2020年からスタートする自治体非正規職員の「会計年度任用職員制度」移行についての認識を聞きました。地方公務員の臨時及び非常勤職員に関する統一的な取扱いを定めることで、適正な任用・勤務条件を確保することにあり、期末手当の支給が可能となるなど、待遇改善にもな

ると認識している。制度導入に向けた財源確保については、国から具体的な内容について、これまで示されていないが、他の自治体とも連携しながら、市長会等の場を通じて、国へ意見を述べていきたいとの答弁でした。

市議会ひぐちコラム

6月26日に行われた佐高信塾は佐高信塾長とアレックス株式会社GEOの辻野晃一郎さんの対談でした。自由で権限も任せられている会社で働いた辻野さんの経験から、自分の頭で考え、誰でも社長や管理職に物申せること、一人ひとりが自分の良心に従って軌道修正「大衆の英知」を信じるのが不正やトラブルを防ぐことであると、日大アメフト部のこの間の顛末などを引用して話されました。

企業が戦争につながるような仕事をしている場合は、見たり、気づいた人が「まずいこと」であるとなかまとともに声を上げ、戦争に手を貸す事業を手放した企業の例も話されました。成長企業が「最強の組織とは弱みを見せ合い、助け合える組織」と打ち出していますが、この考えが今求められることではないのでしょうか。

ホームページ

<http://www.kaigamori.com/nohiguchi/>

ひぐちブログ

<http://nohiguchi.jugem.jp/>

ツイッター

twitter アカウント名
#nohiguchi

Facebook

facebook ページ

<http://www.facebook.com/noriko.higuchi.18>



QRコード

ひぐちのりこ事務所

TEL.022-398-8171 FAX.022-398-8172